

JC 見聞録

HANDA JUNIOR CHAMBER INC.

2010
No. 4

基本理念

継続的な市民参画型社会の構築

基本方針

市民参画型運動の実践・JCブランディングの確立・共に育む環境づくり
JAYCEEの資質向上・活気あふれる地域未来の創造

スローガン

貫徹



8月18日、2010年度第1回臨時総会において、入会認定書授与式が行われ、理事長より認定書とJCバッジが手渡されました。新入会員10名はこの日、2ヶ月間の研修期間を経て、晴れて正会員として青年会議所活動のスタートを切りました。



Contents

活動報告

- P.02 サマーコンファレンス2010「時代を切り拓く！NEXT STAGEへ」～私たちの選択から「世界に輝く日本」に向けて～
7月例会「笑顔と感動のまちづくり」～地域に広げよう！コミュニティの輪～
第1回臨時総会
- P.03 地域活性委員会委員会事業「地域のたから in TAKETOYO」～地域のたからを地域活性化の礎とするために～
家族会「みんなで楽しもう！半田JC家族会」
第43回愛知ブロック会員大会「愛知の志士の魂が、今、未来に翔たく！」～すべては愛する郷土のために～
- P.04 9月例会「はんだ 夢 ロード」～未来を灯すキャンドルナイト～
第59回全国大会小田原・箱根大会「輝け日本！曇りなき「心の月」こそ明日を照らす」
10月例会「Chita Fes2010」～大好きなまちのためにできること～
- P.05 JCI世界会議 大阪大会 Active Citizens(行動する市民)
- 私達のまちへえ～！ほお～！～武豊町～
新入会員から一言
P.06 卒業生から一言

サマーコンファレンス2010

「時代を切り拓く！NEXT STAGEへ」
～私たちの選択から「世界に輝く日本」に向けて～

7月24日(土)～25日(日)、
パシフィコ横浜にて
サマーコンファレンス2010が開催されました。

国民一人ひとりの意欲的で主体的な社会参画意識の
向上の機会となり、自らがわが国の未来を進んで選択
できる可能性溢れる近未来を描くことのできる、「世界
に輝く日本」へ導くことのできる当事者であることを
認識することを目的に、田母神俊夫氏、細野豪志氏、
徳川家広氏をはじめ各界を代表する著名な講師をお招
きして政治・経済・社会など様々なジャンルのフォー
ラム・セミナーが行われました。

本年度も社団法人半田青年会議所からも多くのメン
バーが参加し、大盛況のうちに閉幕となりました。



7月例会

「笑顔と感動のまちづくり」
～地域に広げよう！コミュニティの輪～

7月31日(土)、
半田市立花園小学校にて、
共育推進委員会の設営による7月例会が開催されました。

地域の人々がともに協力して行える取り組みを通じ、
地域に対してともに考え、地域から学び、地域とともに
育むことができる環境づくりをすることで地域の繋
がりの強化を図り、心が通い合える地域が出来ると考
え、本事業の開催の運びとなりました。

花園小学校区の方々とともにマリーゴールドのプラ
ンター作成をした後、作成したプランターを通学路沿
いの民家への配布、その後のお手入れをお願い、その
通りを通学路フラワーロードといたしました。



「信頼」の花言葉のマリーゴールドの花を通じての地
域コミュニティの輪、地域の大人と子どもが繋がり合
うことができ、常に地域のことを考えるきっかけがで
きました。

第1回 臨時総会

8月18日(水)、
市民交流センター(クラシティ半田)にて
第1回臨時理事会が開催されました。

2011年度の役員予定者の承認を含む2010年度第1回
臨時理事会がクラシティにて開催されました。

第1号議案 2010年度社団法人半田青年会議所
補正予算(案)承認の件

第2号議案 2011年度社団法人半田青年会議所
役員(案)承認の件

以上の2議案が全員賛成可決されました。出席率も
98.8%と高く、次年度に向けての意識の高さをうかが
えました。



またこの総会において今年度新入会員10名の新入会
員認定証書授与式が執り行われました。新しい血が加
わることでさらなる勢いを予感させる臨時総会となり
ました。

地域活性委員会委員会事業

「地域のたから in TAKETOYO」
～地域のたからを地域活性化の礎とするために～

8月21日(土)、
武豊町民会館 響きホールにて、
地域活性委員会の設営による委員会事業
「地域のたから in TAKETOYO」が開催されました。

6月例会において豆味噌作りを通して提示された、
社会関係資本の充実と地域のたからの必要性を再認識
するために、その後の調査内容の発表を行いました。
そして、その内容と地域のたから概念を行政(武豊町)
の財産として活用していただくとともに地域のたから
概念の継続を図るために武豊町観光協会および武豊町
に贈呈させていただきました。

なお、社団法人半田青年会議所のエリアである1市
4町に波及することで、知多地域としての活動につな

がると考え、半田市観光協会、美浜町観光協会、南知
多町観光協会、東浦町観光協会、阿久比町産業課にも
ご参加いただきました。



家族会

「みんなで楽しもう! 半田JC家族会」

8月22日(日)、
中日小野浦キャンプバンガロー村にて、
JCブランディング委員会の設営による
家族会が開催されました。

今年度の家族会は、例年と趣を異にする、野外での
バーベキュー開催という運びとなりました。

会員手作りの流しそうめん台での流しそうめんやす
いか割り、カキ氷の振舞いなど、従来の家族会とはま
た違った楽しみに子どもたちも大喜びでした。

また参加者で撮影した写真を9月から始まるカレン
ダー(ラミネート加工)にし、後日、正会員全員に配
布というプレゼントも行われました。



第43回愛知ブロック会員大会

「愛知の志士の魂が、今、未来に翔たく!」
～すべては愛する郷土のために～

9月12日(日)、常滑市民文化会館ほか常滑市内において第43回愛知ブロック会員大会が開催されました。

第43回愛知ブロック会員大会が常滑市民文化会館にて式典、中部国際空港臨時駐車場にて懇親会が開催されました。
懇親会では知多半島委員会による知多汁、たこ飯の知多半島のご馳走の振舞いも行われ、愛知県メンバーに好評
を得ました。



9月例会

「はんだ 夢 ロード」
～未来を灯すキャンドルナイト～

9月18日(日)、
新美南吉記念館および矢勝川沿いにて
協働運動委員会設営による9月例会が開催されました。

まちを受け継ぐこどもたちと見守る大人たち、市民活動団体、行政が真に協力し合うことで市民の参画意識が高め、市民が主体となる個性的で魅力的な地域―「市民が主役のまち」を創造するための一助として、矢勝川沿いにて地域の人たちの願いや将来の夢などで綴られた紙袋提灯と紙コップキャンドルが延々と連なる「はんだ 夢 ロード」を実施いたしました。

また新美南吉記念館では、新美南吉のごんぎつねが由来となる、チーム“GON”による半田の街の歴史



や文化を曲にのせた優雅な踊りが会をいっそう盛大なものにさせていただきました。

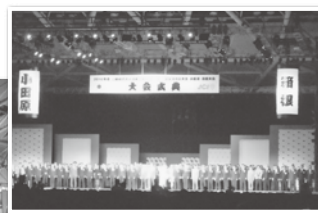


第59回 全国大会小田原・箱根大会

「輝け日本！
曇りなき「心の月」こそ明日を照らす」

9月30日(木)～10月3日(日)、
神奈川県小田原市内にて
第59回全国大会小田原・箱根大会が開催されました。

大会スローガンとして「樗で繋げ！報徳の精神（こころ）」～天下の嶮から708の陽はまた昇る～と掲げられた社団法人日本青年会議所第59回全国大会が神奈川県小田原・箱根の地で開催されました。大会式典においては第59代会頭 相澤弥一郎君から第60代会頭予定者 福井正興君へのプレジデンシャルリース伝達とともに2011年度へのバトンタッチが滞りなく執り行われ、式典の後の卒業式では卒業予定者たちが盛大に送り出されました。



また大懇親会では地域活性委員会によって知多汁のバリエーションとしての知多汁うどんの振舞いが行われ、全国の青年会議所メンバーに知多半島の魅力を伝えられました。

10月例会

「Chita Fes2010」
～大好きなまちのためにできること～

10月9日(土)、
半田市福祉文化会館(雁宿ホール)にて、
市民参画委員会の設営による10月例会が開催されました。

自分たちのまちをよくしようと活動している人や団体とともに地域の魅力を発信する事業を行うことで、まちへの「関心」を高め、「自分たちにもできる」ことに気付いていただき、一歩踏み出し自ら行動できる市民をより多く増やしていくことを目的に本事業を開催いたしました。

戦後復興の時代から現代まで、この地域の移り変わりを、スクリーンや当時の流行音楽、流行りの衣装とともに紹介する第1部の知多コレクションにはじまり、第2部ではエコをテーマとしたにした戦隊ヒーローショー



「環境戦隊はんだエコレンジャー」と飯嶋進哉氏による手話パフォーマンスを披露していただきました。最後の第3部フィナーレの設営委員会のまとめにおいては舞台参加者全員で藤田恵美さんの「OMOIYARIのうた」を手話による振り付けとともに歌いました。

また展示会場においては「大好きな○○写真コンテスト」と題して、応募作品が展示され、コンテストが行われました。

JCI世界会議 大阪大会 Active Citizens(行動する市民)

11月2日(火)～7日(日)
大阪国際会議場ほか大阪市内にて
JCI世界会議が開催されました。

JCIの組織運営に関する諸会議や、フォーラム、セミナー、開催地の主管青年会議所による記念事業、郷土色に溢れたトレードショーや、国際交流を深める様々なレセプションなどが複合的に実施される日本でも最大規模の国際会議であるJCI世界会議がスローガン RESPECT ALL (共尊共栄) ～ As Citizens of One World～ (一つ屋根の下に暮らす世界市民として) のもとに大阪市内にて開催されました。

社団法人半田青年会議所としても京セラドームにて



開催されたジャパンナイトに資質向上委員会が中心となりブースを出展し、知多半島の特産物を使用した焼きおにぎり茶づけを振舞うことで世界のメンバーに日本の魅力、知多半島の魅力を発信いたしました。

私たちの町へえ～! ほお～! 《最終回》～武豊町～

最終回となる今回は「武豊町」の紹介です。

武豊町の由来は、1878年(明治11年)に長尾村と大足村が合併し、村名を双方の氏神である武雄神社・豊石神社から一字ずつ取り武豊村となり、1891年(明治24年)に町制施行し(旧)武豊町となりました。その後、1954年(昭和29年)に(旧)武豊町と富貴村が新設合併し、現在の武豊町となりました。

味噌・たまり醤油などの伝統ある産業とともに臨海部は工業地帯で、化学製品・ガラス・薬品などの大き

な工場も数多くあり、商工業の発展した街です。その商工業を支えてきた武豊線は愛知県で初めて建設された鉄道路線としても知られています。

また産業としての顔以外にも、「浦島太郎伝説」の街としての顔を持ち、武豊町のキャラクターマークである『ゆめたろう』もその伝説にちなんで生まれました。

新入会員から一言

相羽 保寿



「人生で初めて遭遇する、「ひとづくり」「ま

ちづくり」をしっかりと、学び、考え、育ちたいと思います。よろしくお願いします。」

青木 孝太



「自己の成長のため、また、微力ながらも地域

の力となれるように、精一杯がんばります!」

岡戸 秀樹



地域のため、家族のため、自分のため本気で

JCでがんばります。

北川 千暁



みんなで協力し、一つのものを作り上げるこ

とが楽しみです。よろしくお願いします。

榊原 貴吉



地域の方々に「ありがとう」と言っただけ

る活動を行いたい!これからよろしくお願いします。

左右木 雅人



地域の為に考える事がなかった自分がこれか

ら様々な事を考え何か手助けが出来るように頑張りたいと思います。

杉浦 寛之



「今より一歩でも前に進めるようになる。後

退しないようにとにかく何事も前向きにとらえていきたいです。よろしくお願いします」

永田 知是



仲間とともに勉強しながら、がんばっていきま

す。よろしくお願いします!」

配川 純一



明るく楽しく、みんなで協力して精一杯がんば

ります!

坂野 益也



「先輩がたに負けないようにがんばっていき

ます。」

卒業生から一言



石崎 伸郎

卒業 あの道を通ると、真夜中まで頑張る仲間が、そこにはいた。緊張した顔立ち、高まる期待、一般来場者の反応に一喜一憂しながら、リアルな現実を何度も突きつけられました。まちのことを知らなかった自分が、いつの間にか新聞の活字の行間を読み、社会の様々な問題に気づく。自分に何が出来るのか、楽しみです。あの道を通ると、真夜中まで頑張る仲間が、そこにはいる。嗚呼 半田JC…最高に熱い日々を有難うございました。



稲熊 直樹

2001年の入会から数えて丸10年が経ちました。僕が在籍していた間、半田JCも単年度制で毎年あまり変わらないように見えても、長い目で見ると大きく変化しているのだと感じます。これからの10年、1年1年はなかなか達成できずに悔しい思いもするかもしれませんが、その積み重ねが大きな変化の兆しとなります。時代の変化を見据え、それを生かした事業をこれからも続けてください。長い間、お世話になりました。ありがとうございます。



榎本 年克

卒業にあたって 平成10年に入会させて頂いて以来、13年間のJC活動があったからこそ今の自分があるのだと深く感謝しております。現役メンバーの皆様におかれましては、半田JCの歴史を守りつつも、新たな挑戦を忘れないJC活動を通して、自己研鑽に努めて頂けたらいいのかなと思います。皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。



大岩 正樹

長きに渡り御愛顧を賜りまして厚く御礼申し上げます。私は2002年度に半田青年会議所に入会し、今日までの活動において多くの気付きと一生涯の仲間を得ることができました。「時が解決してくれる…」その言葉に後押しされここまでやってきましたが、それは同じ志と価値観を持った仲間たちの存在があったからこそだと思います。今後も10年後の地域と自分自身のビジョンをしっかりと胸に抱き、このまちへの恩返しに頑張っ参ります。本当に長い間、お世話になりました…。



大橋 睦

JCプライドをもって 2009年8月に入会し、1年4ヶ月で卒業を迎えることになりました。何もしないまま、こうして卒業を迎える訳ですが、あこがれのJCバッジを胸につけ、あこがれのJCメンバーになったことは大変感銘を受けています。正会員の皆様におかれましては、JCマンであるプライドを持ち、限られた年月の中で思う存分にJCライフを満喫して頂きたいと思います。短い期間でしたが、ありがとうございました。



榊原 賢一

私は2003年に半田青年会議所に入会させて頂きました。振り返ればあつという間の出来事のように感じます。それはJCの3信条である「修練・奉仕・友情」に包まれ、その精神にまがいなりにも、つかることができたからだと自負しています。そして今そんなJCの素晴らしさに改めて感じさせていたところでもあります。これからは一生JCの精神で更に精進していきます。今まで大変お世話になりました。JC万歳！皆様に幸あれ！



神原 博

卒業にあたって 男味を向上させて我々をいつもドキドキさせる先輩や、社会性を向上させていつもワクワクさせる同級生、さらには地域愛を向上させてウキウキさせる後輩。そんなJCの面々が入会前の自分をときめかせていた。時は流れて…同じ立場に立つ機会を得たけど、自分には間に合わなかったかな。でも一般的な拡大と継続の必須条件、『憧れられているか？育てているか？』を語ってきたつもり。利他追求の仲間達を心から尊敬し感謝してる。



永田 尚之

40までの人生なんて早いものです。JCの卒業という事もうつい最近までは、どこか人ごとのように感じていました。JCに入会してから今日までの日々を振り返ると、たしかに楽しかった。でも、もっとたくさんの事が出来たはず、学べたはずではと改めて時間の大切さに気付きました。一度しかない人生ですから、止まってしまっは勿体ない、一日一日を大切に生きたいと思います。



福本 貴久

半田青年会議所に入会させて頂いたのが平成12年8月22日、約10年5ヶ月正会員として在籍させて頂きました。月日が流れるのが早いのか、自分自身が年を取ったのか、今年で卒業を迎える事となりました。これも一重にご卒業されたOBの皆様、そして正会員として残られる皆様のご指導の賜物だと感謝申し上げます。最後に、半田青年会議所の今後益々のご繁栄と在会生の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。今まで誠にありがとうございました。



村瀬 実誉

2005年8月に入会してから、卒業まで「あつという間」でした。それだけ充実した日々を過ごすことができたからだと思います。たくさんの良い仲間と出会い、素晴らしい経験をさせていただき、ありがとうございました。私自身がJCに対して感謝するなんて、入会当初では考えもしませんでしたが、今、本当にそう思っています。JC活動で得た貴重な経験を、この先の人生において生かせるよう努めます。本当にありがとうございました。

ホームページもご覧ください！

<http://www.handajc.or.jp/>

半田JC

検索

メール会員募集中！

毎月の活動報告やまちの情報などお届けします。ぜひ登録下さい。

- 携帯電話から：右QRコードをご利用下さい。
- パソコンから：半田JCホームページよりメール会員募集ボタンをクリック



編集発行

社団法人半田青年会議所 JCブランディング委員会
社団法人半田青年会議所広報誌 JC見聞録

半田市御幸町1番地 知多繊維会館3F TEL 0569-21-7105
2010年11月30日発行（通算434）印刷：有限会社一粒社